

長崎大学 ダイバーシティ推進センター

NEWS LETTER

長崎大学
ダイバーシティ
推進センター

-おもやり通信-

2024.1

Vol. 56

第8回長崎大学未来に羽ばたく女性研究者賞発表会および授与式報告

第8回となる今年度は、令和5年6月1日から令和5年8月18日に公募を行い、選考委員会において慎重に選考し、優秀女性研究者賞および優秀女性奨励賞受賞者を決定しました。今年度は、3名が優秀女性奨励賞を受賞しました。

受賞者研究発表会および授与式は、令和5年12月13日、文教キャンパス文教スカイホールにおいて執り行いました。

研究発表会では、3名の受賞者が次の内容で発表しました。
住吉玲美助教「特発性多中心性キャスルマン病、TAFRO症候群の病態解明」、古山若呼助教「フィロウィルスの病原性発現および感染機構の解明」、宮崎幸子助教「熱帯熱マラリアの制圧を目指した創薬・ワクチン開発研究」。

研究発表後には、会場の参加者から様々な質問があり、また、今後の活躍への期待も述べられました。

永安学長からは、受賞者の優れた研究活動への称賛と、今後も大学として女性研究者をいっそう支援していく旨が述べられました。また森口理事からも受賞者の研究の質の高さへの賛辞と、この賞を通して次世代の女性研究者の育成につなげていきたい旨が述べられました。

今後も女性研究者がその力を発揮し、広く活躍できるよう支援をまいります。



(左から森口勇理事、宮崎幸子助教、古山若呼助教、永安武学長、住吉玲美助教、西田教行理事、安武敦子センター長)

令和5年度病院の働き方改革シンポジウムの開催案内

「病院の働き方改革シンポジウム」を開催いたします。今年度働き方改革の参加チームによる取組み内容・成果報告に加え、他の大学病院に先駆けて本学大学病院心臓血管外科で導入された診療看護師について、心臓血管外科三浦崇教授と同科村上友悟診療看護師から、その役割と医療現場の働き方改善に対する効果について対談形式でお話を伺います。より良い医療の実現のために、多忙を極める医療現場における働き方改革について一緒に考えてみませんか。皆様のご参加をお待ちしております。

【日時】

令和6年2月28日(水)14:00~16:00

【実施方法】

オンライン形式

【内容】

取組成果発表 : 耳鼻咽喉科(長崎大学病院)、皮膚科(長崎大学病院)、
脳神経外科(徳島大学病院)、形成外科(徳島大学病院)

講演(対談形式): 診療看護師の導入による働き方改革
長崎大学病院心臓血管外科 三浦 崇 教授、村上友悟 診療看護師

【申込】

要事前申込 <https://forms.office.com/r/3UjGbXRQc9>

文部科学省科学技術人材育成費補助事業
-ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先導型)-

長崎大学
NAGASAKI UNIVERSITY

令和5年度
病院の働き方改革
シンポジウム

開催日時
2/28(水)
令和6年

開催時間 14:00~16:00
実施方法 オンライン(ZOOM)

申込締切 2/22
シンポジウムへ参加ご希望の方は、事前にWebよりお申し込み下さい。
<https://forms.office.com/r/3UjGbXRQc9>

プログラム

- 学長あいさつ
- 講演
 - 診療看護師の導入による働き方改革
 - 高橋寿洋 長崎大学病院
 - 村上友悟 長崎大学病院
- 成果報告
 - 耳鼻咽喉科(長崎大学病院)
 - 皮膚科(長崎大学病院)
 - 脳神経外科(徳島大学病院)
 - 形成外科(徳島大学病院)
- 総括: 長崎大学院長

お問い合わせ
国立大学法人長崎大学 ダイバーシティ推進センター
TEL: 095-819-2889 FAX: 095-819-2159
〒852-8521 長崎市文政町1-6-4 E-mail: amc@staff.nagasaki-u.ac.jp <https://www.dcs.nagasaki-u.ac.jp>

申込みはこちら→



令和5年度ダイバーシティ推進学習プログラムSDセミナー

実施日時	実施方法	タイトル	講師
1月29日(月) 14:30-15:30	Zoom	共生社会の実現 ～職場の観点から～	ピーター・バーニック 助教 (障がい学生支援室)
2月28日(水) 14:00-16:00	Zoom	令和5年度 「病院の働き方改革シンポジウム」	【講演】 病院 心臓血管外科 三浦崇 教授 // 村上友悟 診療看護師 【成果発表】 病院 皮膚科、耳鼻咽喉科ほか

障害者雇用促進法や障害者差別解消法が改正され、共生社会の実現に向けての法的な整備が進められています。これらの改正により、職場ではどのようなことが求められているのか。また、私たちは、障害のある人たちとともに働き、学ぶ共生社会の実現に向けて、日常の中でどのようなことができるのか。基本的な視点や考え方について学びます。

教職員の皆様は少なくとも1回は受講してください。
また、e-learning基礎編・管理職編が未視聴の方は、ご覧くださいませようお願いいたします。



介護準備のABC～働くあなたのために～ 改訂しました

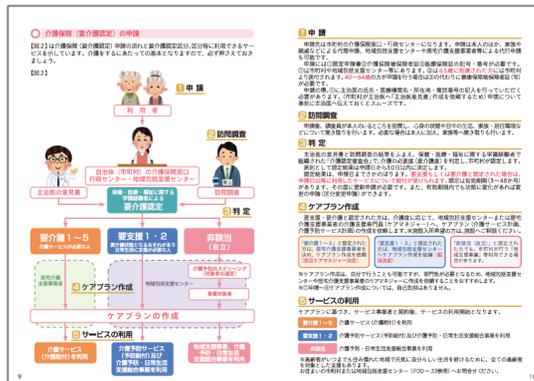
少子高齢化が急速に進む中で、家族の介護のために転職や離職する方が増加傾向にあります。親の介護を担う子世代は、社会や企業において責任ある立場にいるえることが、とても重要です。介護については、情報をたくさん集め世代が多く、経済的および精神的なストレスとうまくつきあいながら、仕事と介護を続けられる環境を整えて、自身また家族は、どのように進めていくのかを選択することが大事です。

長崎大学では「仕事と介護の両立」に取り組み、「介護準備のABC～働くあなたのために～」を作成し、このたび中身を見直し、デジタル版としました。

介護が気になっている方は、お手元においてご利用ください。今はまだ介護にかかわっていない方でも、一度見ていただくと、たくさんの気づきがあるかもしれません。



詳しくはこちら⇒



個室トイレに生理用品ディスペンサーを設置、無償提供を通じて、快適な学生生活を応援します

令和5年10月23日より、文教キャンパスの女性用トイレ11か所にOiTr(オイトル)機器を設置導入し、生理用品の無償提供を開始しました。生理用品が生活必需品であることを、生理のある人ない人が共に理解することで、生きやすい世の中になり、SDGsのゴールである「誰も置き去りにしない(leave no one behind)」にもつながり、また、本学の掲げるプラネタリーヘルスへの貢献につながると考えています。

「生理の貧困」という経済的な意味だけでなく、生理に伴うさまざまな負担軽減につなげ、経済格差やジェンダーギャップ等の不均衡を是正し、女子学生が安心して通えるキャンパスづくりに長崎大学は取り組んでいます。

本学学生及び教職員のみならず、自由にご利用ください(※利用方法はトイレに記載)。

また、現在、他キャンパスへの設置も進めております。

